

1. 目標	(10) ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります		
とりまとめG	都市政策部 都市整備G	担当G	都市政策部 都市整備G 都市政策部 上下水道G 市民総合窓口センター 市民生活G

2. 目標が達成された姿

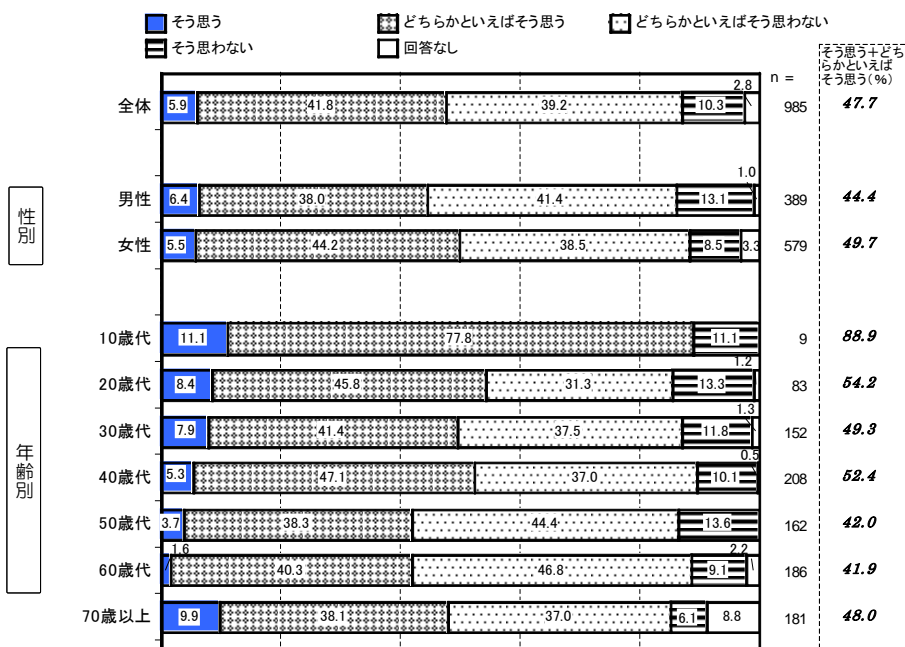
- ◇ 安心して楽しく暮らせる住環境、ライフラインの整備が推進されています。
- ◇ 誰もが日常生活において、スムーズに移動できる環境づくりが行われています。
- ◇ 地域資源を活かした魅力あふれる景観が形成され、まちに対する愛着や誇りが高まっています。

3. 【CHECK】 みんなで目指すまちづくり指標 —目標達成状況—

目標の達成度を計る指標	計画策定時の値 (2010)	実績値			目標値 (2013)	進捗度 評価
		(2011)	(2012)	(2013)		
1) 長く住み続けたいと思う人の割合	76.9%	79.1%	79.4%	81.2%	82%	
2) 歩きやすい、運転しやすいと感じている人の割合	52.1%	51.7%	56.0%	56.0%	57%	

4. 【CHECK】 市民意識調査結果

設問	計画策定時の値 (2010)	実績値			動向
		(2011)	(2012)	(2013)	
調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思う	42.8%	43.3%	45.8%	47.7%	



5. 【CHECK】 「みんなで目指すまちづくり指標」「市民意識調査」結果に対する現状分析(要因・課題等)

- ◆ 総合計画によって展開されている様々な事務事業の取組みに加えて、安心して快適な生活の要件である水道事業の水道管の耐震化、下水道事業(汚水)の使用区域の拡大等の取組み等が計画的に進んでいるため、計画策定時から指標1は4.3%アップ、指標2は3.9%アップ、市民意識調査は4.9%アップと、それぞれ目標値に向かって順調に上昇している。しかし、現在事業を進めている、国道419号、市道港線等の道路事業は、事業期間が中長期にわたるため、短期期間での効果が現れにくいと考えられる。

(前期) 施策評価シート

6. アクションプラン(事務事業)の評価結果(「進捗状況」「効率性」の観点から見た行政による内部評価)				
アクションプラン (事務事業名)	評価 結果	活動指標名	実績値 (2013)	目標値 (2013)
		成果指標名		
【No.33】一般国道419号 高浜立体事業	現行 どおり	道路整備事業の実施(単年度進捗率)	10%	10%
		道路整備事業全体の進捗率	40%	40%
【No.34】 水道事業	改善 (進捗状況)	耐震管理設延長	1,928m	3,600m
		耐震化率	13.0%	14%
【No.35】 公共下水道事業(汚水)	現行 どおり	汚水管整備計画	16.3ha	12.3ha
		汚水管整備率	51.4%	51.2%
【No.36】 市道港線整備事業	現行 どおり	市道港線の整備(単年度進捗率)	17.5%	25%
		市道港線整備事業全体の進捗率	45%	60%
【No.37】 いきいき号循環事業	現行 どおり	いきいき号利用促進PR回数	2回	2回
		いきいき号の利用者数	27,291人	25,000人

7. 【CHECK】これまでの主な取組みと成果

【No.33】国及び県への要望を、衣浦豊田道路建設推進協議会や関係団体等にて適時行ってきた。橋脚17基の内、平成24年末に15基の工事完了・着手となり、残り2基が平成25年度に完成した。24年度では、市民会議にて、橋桁の色についてアンケートを実施し、上部工の桁作成(中央部区間)は、平成24年度後半より約15億円、4年間の債務負担で着手となり、平成26年7月より、現地での桁工事が行われている。

【No.34】都市計画マスタープランで計画した土地利用構想に基づいた都市づくりに向けて、現状の人口や建物の状況を調査する委託業務が実施できた。

【No.35】災害時に人命の安全確保を図るために、重要給水施設への水道管の耐震化や下水道管布設工事に伴う水道管の耐震化を進めている。耐震率は平成22年度末で8.09%、平成23年度末で10.25%、平成24年度末で12.1%、平成25年度末で13.0%であり、平成25年度は水道耐震管を1,928m布設した。公共下水道全体計画面積890haのうち、517.4haの事業認可を受け、平成25年度末までに、457.2haの整備を行い、下水道人口普及率は53.9%となった。

【No.36】<平成23年度>道路用地を確定するため地権者への説明を行い、測量を始めた。1件については用地取得道路計画線にかかり影響のある建物、移転等の補償となる建物等について調査を始めた。

<平成24年度～平成25年度>用地買収、移転補償について、契約交渉事務を進めた。

【No.37】コミュニティバス「いきいき号」の運行路線を見直し、刈谷市コース(刈谷豊田総合病院本院)を新設した。「いきいき号」の新路線に対する市民(利用者)への情報提供のため、広報に関連記事を掲載した。

「いきいき号」平成25年度全体利用者数27,291人(H23:22,346人、H24:25,668人)内刈谷市コース利用者数8,021人

8. 【CHECK】【ACTION】課題と今後の取組みの方向性

(1) 長期的な視点と国・県等との連携

インフラの整備は時間とコストがかかるため、高浜市の財政状況、水道事業の健全経営を考慮して長期的な視点で計画的に事業を進める必要がある。また、国道419号や市道港線等の道路整備など、市単独ではできないため、国、愛知県等の関係機関と連携しながら着実に事業を進める。

(2) 長寿命化に向けた取組み

安全で快適に道路を利用し続けるためには、「点検→診断→措置→記録」というメンテナンスサイクルを確立し、将来にわたる維持管理・更新コストの最小化を図ることが必要である。26年度中に、舗装の修繕計画の策定、道路付属物(照明灯)の点検、橋梁の調査・点検を実施し、インフラの長寿命化対策計画を策定する。

(3) 行政バスの広域利用の促進

衣浦定住自立圏圏域連絡バスの創設事業として刈谷・知立・高浜・東浦の各市町の拠点間を結ぶバス創設について研究を行う。

9. 【CHECK】第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果